

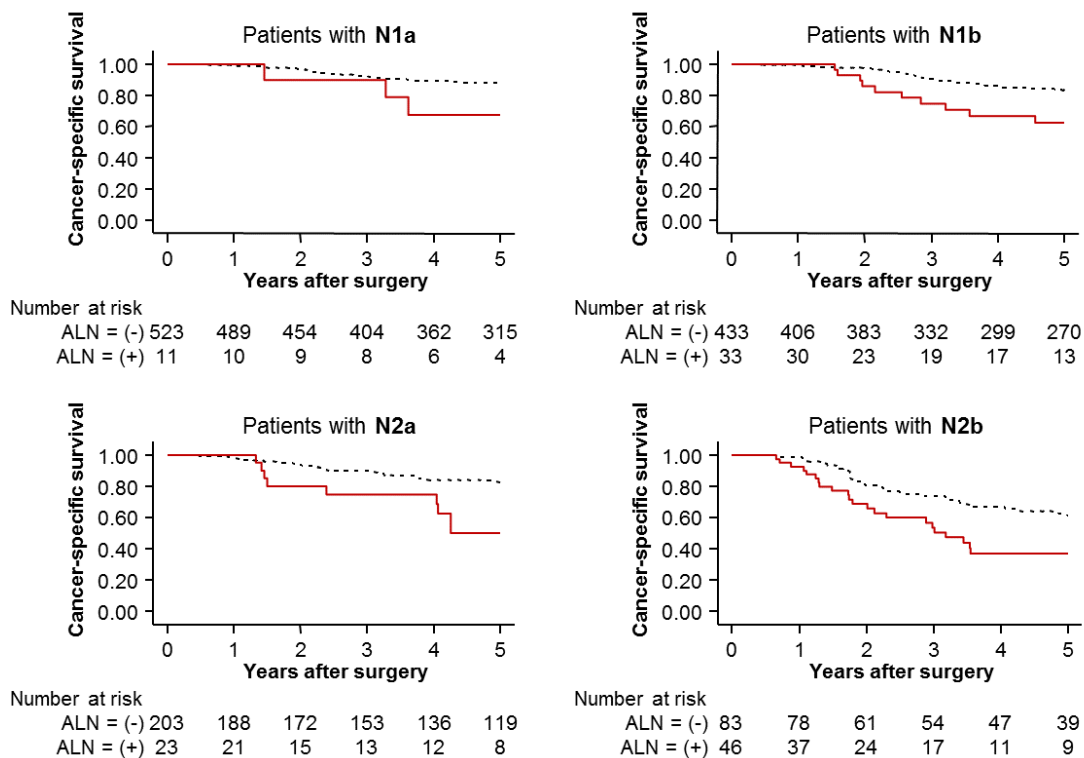
解説

British Journal of Surgery 2014; 101: 1143-52.

Incorporation of apical lymph node status into the seventh edition of the TNM classification improves prediction of prognosis in stage III colonic cancer.

Kawada H*, Kurita N*, Nakamura F, Kawamura J, Hasegawa S, Kotake K, Sugihara K, Fukuhara S, Sakai Y. (*Equally contributed)

大腸癌病期分類の TNM 分類には、かつて主要血管根部のリンパ節転移の有無が含まれていた。現在の TNM 分類 7 版にはこれが含まれず、転移リンパ節の個数でリンパ節分類が規定される。本研究は、根治的リンパ節廓清を受けた Stage III の大腸癌患者の多施設コホートを用い、主要血管根部のリンパ節転移が TNM 分類 7 版と独立に予後に関連することを示した。また、TNM 分類 7 版に主要血管根部のリンパ節転移を加えると予後予測が改善することを示した。



ALN: 主要血管根部リンパ節